

(4.6.1) 農薬ラベル指示に従う適切な防除衣・防除具

(4.6.2) 再利用する防除衣及び使用後の防除具の洗浄

美味しまねゴールド生産工程管理基準 4.6.1 より抜粋

- ①農薬使用にあたり、作業者は農薬のラベルの指示に従って適切な防除衣・防除具を着用している。
- ②マスクについては、使用回数・期間の指定がある場合にはそれに従っている。

美味しまねゴールド生産工程管理基準 4.6.2 より抜粋

- ①農薬使用後は、防除衣・防除具による交差汚染を防いでいる。
- ②再利用する防除衣及び防除具は使用後に洗浄している。
- ③防除衣は着用後に他の服とは分けて洗浄しており、手袋は外す前に洗っている。
- ④ゴム長靴は靴底までしっかりと洗っている。
- ⑤破れたり痛んだりした防除衣やマスクの汚れたフィルターは新しく替えている。

■ 4.6.1 防除衣・防除具の着用に関する項目です。

農薬散布液を吸引したり、皮膚に付着したりすると健康被害が発生する可能性があります。労働安全の視点から、適切な装備を選び、着用して農薬を使用しましょう。

■ 4.6.2 防除衣・防除具の洗浄に関する項目です。

農産物への農薬成分の交差汚染が起こると、農産物の安全性に影響します。このようなことを防ぐために、農薬使用後の防除衣・防除具を洗浄する必要があります。また、農薬散布後に他の作業を行う場合の交差汚染への配慮も必要です。具体的には、農薬散布作業後は収穫作業をしない、他の作業をする場合は着替えや手洗いの後に他の作業に入る、などがあります。

【参考】

農薬の調製、散布にあたっては、防除衣やマスク、メガネ、手袋等適切な防除具を使用します

◆なぜですか？

- 1 農薬を取り扱う時、①口から飲み込む ②目に入る、肌につく ③揮発ガスを口や鼻から吸引する危険性があり、防除衣、マスク、手袋等着用する必要があります。
- 2 保護具については、農薬の剤型、成分により、適正なものを選び安全に作業をします。

◆どのようにするのですか？

- 1 農薬ラベルの注意マークの指示に従い、防除具を使用します。
- 2 防除具の取り扱い説明書に従い、正しく使用します。
- 3 使用後は、防除衣・防除具を**洗浄**し、決まった保管場所に保管します。

◆防除衣

- 1 選択のポイントとして、①防水性がよい ②通気性がよく蒸れない ③生地が軽く柔らかい ④汚れ落ちがよい ⑤耐久性が高い ⑥撥水性がよく農薬が付着しにくい ⑦毛羽立ちしない ⑧洗濯しても防水効果がなくなる等があります。

◆マスク

- 1 農薬の形態、成分によって、マスクを選択する必要があります。
- 2 粉剤、粒剤、水和剤、乳剤、液剤：保護マスク（農薬マスク）（＝防じんマスク）を使用します。
- 3 土壌くん煙剤の臭化メチル、クロルピクリン、DDVPなどのガス化しやすいもの：防護マスク（＝防毒マスク）を使用します。
- 4 その他のポイントとして、①自分の顔に合い顔との間に隙間がない ②保護メガネとの併用ができる ③面体が唇に直接ふれないように内側の空間が十分ある ④ゴムひも等で固定できる等があります。

◆保護メガネと手袋

- 1 ゴーグル形で、曇り止めされたものを利用します。また、マスクが邪魔になったり、吸気で曇らないか確認します。
- 2 ゴム手袋やビニール手袋を使用します。

◆その他の注意点

- 1 首に巻いたタオルや作業服にも農薬が付着している可能性があります。汗をふく時には、直接それらでふかないように注意します。
- 2 長靴や手袋へ裾や袖を入れたまま農薬散布すると、中に薬液が流れ込む可能性があります。着用する時は、裾や袖を外側にします。



図3

出典：農作業安全チェックリスト解説F 農薬、燃料の安全使用、管理（農作業安全情報センターHP）

【問い合わせ先】

産地支援課美味しまね・GAPスタッフ

TEL：0852-22-6011

E-Mail：oishimane@pref.shimane.lg.jp

★美味しまね認証 HP <https://oishimane.com/>

